

## 会議録

会 議 名	大船渡市防災会議
開 催 日 時	令和2年2月20日（木）午後1時30分から午後2時15分まで
開 催 場 所	シーパル大船渡 大会議室
出 席 委 員	会長：市長 委員：別紙「出席者名簿」のとおり
事 務 局	防災管理室次長、主幹、係長
配 布 資 料	1 大船渡市地域防災計画の修正について … 資料1-1 2 大船渡市地域防災計画修正案の概要 … 資料1-2 3 大船渡市地域防災計画修正案 … 資料1-3 4 令和元年の災害対応状況について … 資料2
会 議 次 第	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (1) 大船渡市地域防災計画の修正について (2) その他 ア 令和元年中の災害対応状況について イ その他 4 閉会

## 議事録

○司会（大浦次長） 皆様、本日は、ご多忙のところ、ご出席いただきありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから、「大船渡市防災会議」を開催いたします。私は、本日の会議の進行を担当いたします、総務部防災管理室次長の大浦と申します。どうぞよろしく願いいたします。

開会に当たりまして、本会議の会長であります戸田市長から挨拶を申し上げます。

○会長（戸田市長） 本日は、大船渡市防災会議を開催いたしましたところ、委員の皆様にあつたは、大変お忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、日頃、市政各般にわたり、格別のご理解、ご支援、ご協力をいただいておりますことに改めまして、この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

さて、甚大な被害をもたらし、多くの尊い命が失われました東日本大震災から、まもなく丸9年を迎えようとしています。これまで、市民の皆様をはじめ関係各位のご協力のもとで、一日も早い復興に向け全力で取り組んでまいりました。おかげをもちまして、市の復興計画は計画期間の最終年度でございます令和2年度末に向けまして、今まさに第4コーナーを回って、ゴールを目指して、直線コースに入ったところでもあります。改めまして、関係各位に心から感謝を申し上げますところでございます。どうか引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本日は、議題として、大船渡市地域防災計画の修正を皆様にお諮りをさせていただきたいと存じます。今回の修正は、近年の自然災害の発生を踏まえ、国の防災基本計画及び県の地域防災計画の修正などに伴うものでございまして、防災関係機関各位への意見照会、市議会全員協議会での説明等を踏まえ、検討・調整を重ねて取りまとめたところでございます。全国各地で大雨などによる災害が多く発生しておりまして、当市でも、今年の台風第19号では、東日本大震災以来となる災害対策本部を設置し、全庁的に対応にあたったところであります。

今後も発生が懸念される大規模な自然災害から市民の生命、財産を守るためには、いかに備えるかが重要であり、引き続き、災害に強いまちづくりに向け、緊張感を持って防災対策に万全を期す必要がございますので、本計画につきまして、委員の皆様方の忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げ、あいさつに代えさせていただきます。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。

○司会（大浦次長） 次に、議事に入りますが、始まる前に、本日の配布資料の確認をさせていただきます。事前配付の資料といたしまして、資料1-1「大船渡市地域防災計画の修正について(令和元年度修正)」、資料1-2「大船渡市地域防災計画修正案の概要(令和元年度修正)」、資料1-3「大船渡市地域防災計画 令和元年度修正案」がございまして。

また、本日の配布資料といたしまして、資料2「令和元年中の災害対応状況について」のほか、会議次第、委員名簿、座席表がございまして、不足ございませんでしょうか。

それでは、これより議事に入ります。本会議の議長につきましては、「大船渡市防災会議条例」第3条第3項の規定により、会長が務めることとなっておりますので、戸田会長に議長をお願いいたします。会長、よろしくお願いいたします。

○会長（戸田市長） それでは、ここからは、私が議長を務めさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。まず、はじめに資料の1－1の「大船渡市地域防災計画の修正について」を議題とします。事務局の説明をお願いします。

○事務局（清水主幹） 事務局を務めさせていただきます、総務部防災管理室の清水と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。それでは大船渡市地域防災計画の修正について、資料1－1に基づいて説明させていただきます。

**〔資料1－1により地域防災計画の概要、これまでの計画修正の経緯、令和元年度修正案の作成経過、意見公募手続の実施結果について説明〕**

以上、大船渡市地域防災計画の修正につきまして説明させていただきましたが、この修正につきましては、本日の市防災会議の承認を経て修正するものであります。よろしくご協議くださいますようお願いいたします。

○会長（戸田市長） ただいま説明がありましたけれども、皆様より、ご意見なりご質問なりございましたら、どうぞ。

なお、概要について皆様にご説明したところですけれども、この概要の具体的な内容が資料1－2にありまして、そのさらに詳しい内容が資料1－3となります。

○会長（戸田市長） それでは、ご意見がありましたなら、また、あとの機会にでもおっしゃっていただければと思います。ではこちらについてお謀りさせていただきます。地域防災計画修正案については、本日もご提案申し上げました原案どおりということではよろしいでしょうか。もし、よろしければ、拍手をお願いいたします。

**〔拍手〕**

はい、原案どおり決定させていただきます。

○会長（戸田市長） では次に移りたいと思います。それでは、「(2) その他」に入ります。「令和元年中の災害対応状況について」をお願いします。

○事務局（清水主幹） それでは、「令和元年中の災害対応状況について」、資料2に基づいてご説明させていただきます。

〔資料2により令和元年中の主な災害対応状況について説明〕

以上、私からの説明を終わらせていただきます。よろしくお願ひいたします。

○会長（戸田市長） はい、ただいま「令和元年中の主な災害対応状況について」の説明がございましたけれども、何かございませんでしょうか。

○一般社団法人岩手県建設業協会大船渡支部 昨年の台風第19号に伴いまして、連絡体制について、このとき初めて市から連絡をいただいたが、この際に、連絡体制がはっきりしていませんでした。事務局に来たり、各会社に行ったり、バラバラに電話をかけているようでした。これに関して、しっかり市とも話し合っておりませんので、例えば土木センターさんとは、連絡系統図を作っております。今回の19号に際しまして、初めて、三国の事務所さんなどから連絡が来ましたが、ファックスできたり、電話で直接いただいたり、その辺がバラバラですので、詰めた方が良くと思います。

○会長（戸田市長） 貴重なご意見をいただきましたけれども、事務局どうでしょう。

○事務局（大浦次長） 地域防災計画の中では建設業協会さんだけでなく、いろんな団体等と連携でということがものすごく大事であります。今回の台風第19号の一つの教訓としまして、市の方でもそれぞれ再点検させて、連絡体制の確立というものをきちっとさせたいと考えておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

○会長（戸田市長） 今のご意見をいただいて、今後アクションに移るんですけども、そのアクションをいつ皆さんに発表をするのか。

○事務局（大浦次長） 早ければ今年度中には、関係者を全部呼んで、連絡体制の表や、出先機関の電話番号などとか、ホットライン的なものを作成して、防災管理室に集約したいと考えています。

○会長（戸田市長） 防災管理室から、関係する事業所の皆さんに連絡をお配りするということですか。

○事務局（大浦次長） そういうことです。

○盛岡地方気象台 意見ではございません。昨年の台風第19号の対応では、前もって様々な情報を市町村に提供してきたため、大船渡市でも避難勧告等が速やかに発令されたということでございます。盛岡地方気象台では、引き続き、必要な情報を提供していきたいと考えております。

○会長（戸田市長） その他にございますでしょうか。

無いようでしたら、次に進みます。「イ その他」になりますが、事務局から何かありますでしょうか。

○事務局（大浦次長） ございません。

○会長（戸田市長） それでは、私の方から、去年の台風第15号で千葉県が長期間にわたって停電になりましたが、当初、台風通過後は電力会社でも数日程度で回復するだろうと思っていたようですけども、その後、まだかかりそうだったということでした。当市では、千葉県の山武市さんに震災以来、支援していただいておりますので、山武市さんの状況を確認したところ、やはり電力がストップしているとのことでありました。そこで、当市としては支援がしたいのですが、何が必要ですかと伺いました。それで、206本入りの水を500ケース支援しました。

また、台風第19号では銀河連邦共和国の相模原市、長野県佐久市、宮城県角田市が大きな被害を受けたため、見舞いに行っていました。同時に、現地の状況を見てまいりましたが、大変な状況でありました。

なお、全国市長会では、各地で災害が発生するため、市長会のホームページにどこの被害を受けたところに、どこが支援をしたということが掲載されています。

以前の支援では、一昨年、西日本豪雨で岡山県倉敷市にお見舞いに行ってきました。被害が大きかった真備町にも行ってきましたが、真備町では、平成17年の岡山国体の際に野球種目の練習場を引き受けており、その時の岩手県代表が大船渡の太平洋セメントでして、その時のボールがあり見せていただいたが、水害で泥まみれになっていました。その泥を払うと、選手の名前が書いてありました。そのこともありまして、後日、真備町でさんまを焼きに行って、大船渡のさんまを食べていただきました。

それから、平成28年の熊本地震では、当市では避難所の経験がありますから、避難所の立ち上げに人員を派遣してくれとのことでしたので、10日間ぐらい派遣しました。また、北海道胆振地震では、建物の被害調査のために、県と協力しながら、職員を派遣しました。

こういう事態ですので、お互い助け合おうという状況となっていることをお知らせします。

その他、皆様からございませんでしょうか。

○会長（戸田市長） 特に無いようですので、以上で本日の議事を終了させていただきます。委員の皆様方には、お忙しい中、ご出席を頂きまして誠にありがとうございました。本日の会議で決定を行った市地域防災計画については、ご承知の通り、災害応急対策を適切に実行するための前提でございます。本計画に基づきます防災対策の実施に際しましては、引き続き関係機関各位

のご協力をお願いいたします。それでは議長の任を解かせていただきます。どうもありがとうございました。

○司会（大浦次長） ご審議を頂き、ありがとうございました。以上をもちまして、大船渡市防災会議を終了いたします。本日は、誠にありがとうございました。